

#### N04 <子ども、親子、高齢者が野遊び、里山の自然遊びができる場をつくる>

川崎市多摩区と宮前区に跨がる川崎国際生田緑地ゴルフ場(59.4ha)を廃止し、その管理運営を、それを目的として新たに設立するマネージメントNPOに委託し、その事業を支援する。

当該マネージメントNPOは、様々な市民ボランティア・グループ及び時々ならボランティアをしてもいいと思っている個人を発掘、調整し、ネットワーク化を図り、これらの市民の力によって当該区域を「里山の自然遊びができる場」をテーマに自然を再生していく。同時に、子ども、親子、高齢者などが当該地で、思いっきり、自然遊びに興じることができる様に、様々な工夫を施し、一緒に遊び、新たな次元のコミュニティの場として運営していく。

福祉施策としての意味は、別表「活動と福祉施策としての意味」に示したが、子どもの健全育成、介護を必要としない高齢者や軽度の障害者の健康と生きがいなどにある。

このプロジェクトは施設をつくるものではなく、市民活動を支援し、活発にして、市民が計画し、実行する事業によって、市民の福祉に貢献しようというものである。

施策の展開手順は、概ね次の通りと考える。

- (イ) 土地利用転換についての市民合意の形成
- (ロ) 農薬の使用停止を含むゴルフ場廃止プログラムの作成
- (ハ) マネージメントNPOの準備組織による基本計画作成
- (ニ) 市民ボランティアのネットワーク構築
- (ホ) 土壌汚染状況調査
- (ヘ) ゴルフ場廃止決定
- (ト) 自然再生計画(年間プログラムなど)作成
- (チ) マネージメントNPOの設立
- (リ) 自然再生事業による福祉サービス開始

活動と福祉施策としての意味

テーマ	誰が	いつ	どんな活動を	施策としての意味、効果など
野遊び、里山遊びのマネージメント	マネージメントNPO	計画的に	遊びの支援を計画する 介助等のボランティア・ネットワークを構築する。	
野遊び、里山遊び	親子	いつでも	いきものを採集する 野外の食事を楽しむ 星空観望を楽しむ	身近な野外で食事をしたり、木登りをしたり、追いかけてっこをしたり、親子と一緒に野遊びをすることで子どもの健全育成に寄与する。
	子ども	いつでも	いきものを採集する 泥まみれになって遊ぶ 走り回る 追いかけてっこ、かくれんぼ等をする 斜面を滑る	幼児期の自然遊び、特に生き物採集は人格形成、感性の発達に影響が大きいと言われている。ここでは、自由に生き物採集ができる。しかし、皆が採りまくったら、すくひなくなってしまう。ルールは子どもたちが決める。社会のルールについての理解を学習することとなる。
	介護を要しない高齢者	いつでも	野原の食事を楽しむ 自然観察を楽しむ 星空観望を楽しむ	高齢者の価値観も多様である。子どもの頃を思い出し、その当時の遊びを人に教えることも生きがいになる。保健福祉として重要である。
	障害者、知的障害者(介助ボランティア)	予約	野外の食事を楽しむ 走り回る 斜面を滑る 星空観望を楽しむ	介助ボランティアのサポートを得て、生き物採集をしたり、星空観望もできる。人生を楽しむ機会を増やし、健康をもつなげる。
	幼稚園 保育園の園児	遠足などの行事	野外でお弁当を食べる いきものを採集する 泥まみれになって遊ぶ 走り回る 星空観望を楽しむ	広々とした草原や雑木林の中で、思いっきり遊びまわることが、子どもの様々な能力の発達に良い影響を及ぼす。
	プレイリーダー(市民ボランティア)	定期的或いは要請を受けて	自然との接し方、遊び方を、一緒に遊びながら教える。	遊びながら社会貢献が果たせる。
	介助ボランティア	要請を受けて	安全に、楽しく遊べる様に介助する。	社会貢献が果たせる。
	里親ボランティア	要請を受けて	保護を要する子どもの面倒をみる。	都合のいい時だけ、社会貢献が果たせる。
自然を再生させる活動のマネージメント	マネージメントNPO	通年、計画的に	自然再生の過程が「参加者の福祉」になるということを意図した自然再生計画を作成する。 市民ボランティア等の活動を調整して、自然再生を推進する。	
自然を再生させる活動	作業ボランティア(市民) 高齢者	計画的に	自然再生計画に沿って、その都度現地で話し合いにより細部を決定して、自然を再生させる作業をする。	楽しみながら社会貢献ができる。 楽しみながら地域に貢献できるということが高齢者の生きがいと健康づくりにつながる。
	小学生、中学生、その他	総合学習など		自然環境について学習できる。(子どもの健全育成)
	軽度の障害者、知的障害者など + 介助ボランティア			自然に包まれることで精神的に癒されると同時に、障害があっても社会貢献が可能であることを知ることができる。
残留農薬の状態、生物の棲息状況、植生変化などの調査(モニタリング)	調査ボランティア、子ども	定期的	汚染土壌及び浸出水の試料の採取、分析、記録、評価をする。 水中及び土中の生物調査をする。 植生調査をする。 野鳥や昆虫の調査をする。	土壌汚染の状態を化学的に、また棲息する生物から把握する。これらの変化の状況は、来訪者に知らせる。これらを通して社会貢献していることが生きがいにつながる。
里山の林間学校(自然の学校)	市民ボランティア	計画的に	子どもたちの世話をする。	楽しみながら、社会貢献ができる。
	一般募集の子ども(小学生程度)		身近な場所でありながら、自然の中での生活を体験する。	初めて知りあった子どもたちが、一緒に遊び、話し合い、自然を学び、人間関係を学ぶ。